

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果

京都市立双ヶ丘中学校

5月27日に、本校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりました。今年度の調査は、国語と数学の2教科のテストと同時に、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も実施されております。調査結果を踏まえ、生活習慣や学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・数学）

国語は全国平均と同じで、数学は全国平均を少し下回る結果になりました。今年度から全面実施された学習指導要領を踏まえた形式になりました。そのため各教科ともに問題を領域別や観点別、解答の形式別にみると全国平均を上回るもの、下回るものがありました。その結果から本校の課題が明確に表れました。結果を分析し、課題改善を図るための授業改善に努めてまいります。また個人でも、結果を見ながら各自の弱点克服に努めていくことが大切です。

国語科より

全体の平均正答率は全国、京都府とほぼ同じ結果となった。評価の観点の項目において、「書く能力」は全国平均を3ポイント上回るが、「読む能力」では平均を下回っている。本校の生徒の多くは、一方向的な知識の蓄積、いわゆる暗記項目に関しては努力を怠らず、比較的得意であると考えられる。また、学習課題に対しても意欲的に取り組み、自らの考えや主張を他者に伝えようという意欲が見られる。しかし、思考力を要する課題には抵抗を示す生徒も多く見られる。知識や技能を蓄えることには長けているが、それを利用して思考・判断する「読み取る」能力は未だ改善すべきである。

自分の考えを発表したり、書いて提出する課題を多く課してきたが、今後は深い読み取りが必要となる課題や、長文読解に触れる課題を取り入れ、インプットも重要視した授業展開を進めていきたい。

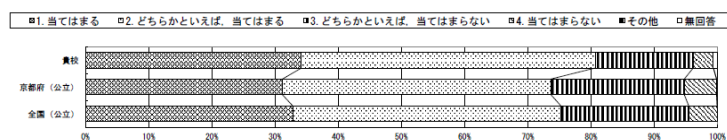
数学科より

全体の平均正答率は全国、京都府に比べ2ポイント下回る結果となった。観点別でみると課題は明確であり、評価の観点の項目において、数学的な技能は5%以上上回るが、数学的な見方、考え方の問題は平均より5%以上下回っている。問題形式の項目においては、記述式の解答になると苦手意識があるようで、6%下回っていた。短答の問題は無解答もなく、しっかり取り組んでいる。様々な課題を粘り強く考え、自分の考えをしっかりと記述していく練習が不可欠となる。

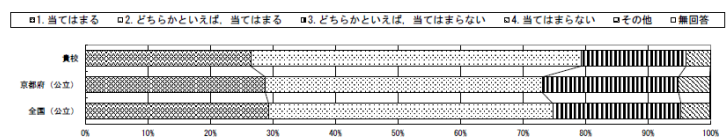
重点課題としては記述による考え方の力をつけさせていくことと考える。そのため、授業では、自らの考えを口頭もしくは記述で答える題材を今後増やしていくことが必要であり、まずは基本事項の理解の徹底と、学力遅進生徒への個別指導はこれからも続けていく。そして様々な課題を、じっくりと粘り強く考え、またグループで協議しあい、課題解決にむけて取り組めるような授業展開が必要である。

生徒質問紙調査から見える成果

「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」



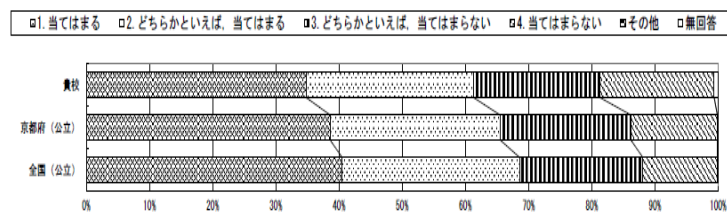
自分と違う意見について考えることは楽しいですか



肯定的な回答が京都府、全国より上回っている。授業を通して、コミュニケーション能力(お互いの考えていることを伝え、理解し合える力)の向上を目指して各教科が取組を進めてきた成果が少し現れた結果となった。学校評価(保護者対象)アンケートにおいても、「子どもが、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりすることができること」80%以上の保護者が肯定的にとらえられている。

生徒質問紙調査から見える課題①

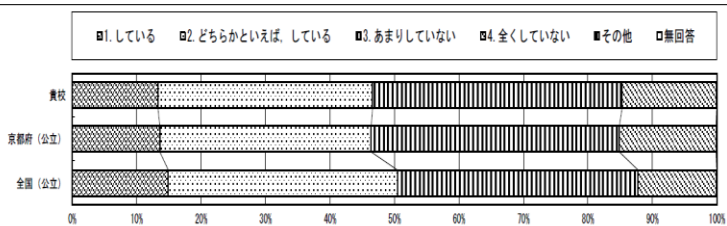
「将来の夢や目標を持っていますか」



一昨年と同様に肯定的な回答が全国より値が低くなっています。将来の夢や目標をもち行動することで普段の学校生活を送る意識が変わってきます。ご家庭でも話題にしてもらえればと思います。

生徒質問紙調査から見える課題②

「家で自分で計画を立てて勉強していますか」



肯定的な回答が全国よりも値が低くなっています。宿題をはじめ、予習復習は家庭での学習が基本となります。毎日コツコツ学習を進めることが大切です。自分にあった学習の進め方を見つけ。計画的に家庭学習を進めてください。

全体を通した本校の課題

国語は、ほぼ全国平均と同じ程度であり、数学は全国平均を少し下回る結果となりました。各教科とも問題の分類や区分から見ると、課題は明確であり、改善に向け結果を分析し、生徒の学習や教師による授業改善を図ることが重要となります。

学習指導要領を踏まえ、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力を育めるよう、知識・技能と思考力・判断力・表現力とは一体的に高まっていくことで深い学びになっていくことを理解し、学校での学びが将来生きていく基盤となるものであることを考えて、学習に取り組むことが大切になってきます。

保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばし、課題を解決していくためのものです。望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤であり、子供は学校・家庭・地域との協力があり成長していくものです。今後とも引き続き子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。本校でも授業改善はもちろん、子供たちの成長のために教育活動に邁進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。